

事業報告

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

一般社団法人 公営交通事業協会

1 会員及び役員の状況

令和6年3月31日現在の会員及び役員の状況は、次のとおりである。(正会員、特別会員及び賛助会員名簿並びに役員名簿は、資料1のとおり)

(1) 正会員

- ① 正会員総数 22都市
- ② 入会・退会 なし
- ③ 事業別会員数
バス事業 18都市
地下鉄事業 8都市
路面電車事業 5都市 (うち軌道整備事業 1都市)
新交通事業 1都市

(2) 特別会員

- ① 特別会員数 1社 (大阪市高速電気軌道株式会社)
- ② 入会・退会 なし

(3) 賛助会員

- ① 賛助会員総数 19社・1団体
- ② 入会・退会 なし
- ③ 事業別会員数
交通事業 13社
バス車両メーカー 1社
損害保険業 2社
その他の事業 3社・1団体

(4) 役員

- ① 役員数 理事12名 監事3名 計15名
- ② 役員の選任状況

1) 補欠選任 (令和5年4月17日)

役員名	会員都市名及び役職名	選任	辞任
理事	東京都公営企業管理者	久我 英男	武市 玲子
理事	名古屋市交通事業管理者	折戸 秀郷	小林 史郎
監事	福岡市交通事業管理者	小野田 勝則	重光 知明

2) 会長及び副会長の選定 (令和5年4月24日)

役職名	氏名	会員都市名及び役職名	新任・再任
会長	久我 英男	東京都公営企業管理者	新任
副会長	折戸 秀郷	名古屋市交通事業管理者	新任

2 会議の開催

令和5年4月1日から令和6年3月31日までに開催した総会、理事会及び決算監査の実施状況は、次のとおりである。

(1) 総 会

○ 令和5年度第1回臨時総会（みなし決議 令和5年4月17日）

- 1) 提案事項
議案 役員の補欠選任
- 2) 上記の議案は原案のとおり決定された。

○ 令和5年度定時総会

- 1) 日時 令和5年5月25日（木）15時30分～16時25分
- 2) 場所 ルポール麹町 エメラルド
東京都千代田区平河町2-4-3
- 3) 議事
第1号議案 令和4年度事業報告
第2号議案 令和4年度決算報告
第3号議案 令和5年度事業計画（報告案件）
第4号議案 令和5年度予算（報告案件）
第5号議案 令和5年度の会費について
第6号議案 令和6年度政府施策に関する要望

以上の議案はすべて全会一致で承認、可決された。

(2) 理 事 会

○ 令和5年度第1回理事会（みなし決議 令和5年4月10日）

- 1) 提案事項
議案 令和5年度第1回臨時総会（みなし決議）について
（案件 役員の補欠選任のための第1回臨時総会の開催）
- 2) 上記の議案は原案のとおり決定された。

○ 令和5年度第2回理事会（みなし決議 令和5年4月24日）

- 1) 提案事項
議案 会長及び副会長の選定
- 2) 上記の議案は原案のとおり決定された。

○ 令和5年度第3回理事会（みなし決議 令和5年5月8日）

- 1) 提案事項
議案 令和4年度事業報告及び決算の承認
- 2) 上記の議案は原案のとおり決定された。

○ 令和5年度第4回理事会

- 1) 日時 令和5年5月25日(木) 15時00分～15時25分
- 2) 場所 ルポール麹町 エメラルド
東京都千代田区平河町2-4-3
- 3) 議事
第1号議案 令和4年度事業報告(報告案件)
第2号議案 令和4年度決算報告(報告案件)
第3号議案 令和5年度事業計画
第4号議案 令和5年度予算
第5号議案 令和5年度の会費について(案)
第6号議案 令和6年度政府施策に関する要望(案)

以上の議案はすべて全会一致で承認、可決された。

4) 業務報告

(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第91条第2項に基づく代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告)

事務局長から第1号議案「令和4年度事業報告」の報告をもって令和4年度の職務執行状況の報告とする旨説明するとともに、「令和5年度業務報告」により期首から本理事会前日までの代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告を行った。

○ 令和5年度第5回理事会

- 1) 日時 令和6年1月30日(火) 13時00分～15時00分
- 2) 場所 ルポール麹町 アメジスト
東京都千代田区平河町2-4-3
- 3) 議事
第1号議案 令和6年度事業計画書(案)
第2号議案 令和6年度収支予算書(案)
第3号議案 令和6年度会費について(案)
第4号議案 令和6年度定時総会の日時、場所等について(案)

以上の議案はすべて全会一致で承認、可決された。

4) 業務報告

(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第91条第2項に基づく代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告)

事務局長から、「令和5年度業務報告」により第4回理事会が開催された5月25日から本理事会前日までの代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告を行った。

(3) 決算監査

○ 令和4年度決算監査

- 1) 開催 令和5年4月20日、24日、25日
- 2) 個別監査
令和4年度決算監査については、監事毎に実施した。

3 調査・研究事業

会員都市のご協力等により、公営交通事業に関する次の事項について調査を行い、要望書の作成、会報「公営交通」等への掲載を行った。

(1) 令和6年度政府施策に関する要望調査

会員の要望意見を踏まえて要望事項をとりまとめ、定時総会で承認を得て、要望書を作成した。

(「令和6年度政府施策に関する要望書」は令和5年7・8月会報に掲載)

<主な新規要望事項>

- ① 新型コロナウイルス感染症による公営交通事業の厳しい経営状況に対して、以下の施策を講じられたいこと。
 - ・公営企業に係る特別減収対策企業債については、令和6年度も制度を継続するとともに、償還に係る財政措置を拡充すること。(結果→×)
 - ・地方公共団体が軽油及び電力など物価の高騰に直面する交通事業者の支援を実施できるよう、引き続き、地方創生臨時交付金により必要な財政支援を行うこと。(結果→○)
- ② バス事業
 - ・運行情報のオープンデータ化やキャッシュレス決済の機能拡充をはじめ、交通DXを一層推進する事業に対する補助金の所要額を確保すること。(結果→×)
 - ・一般バス(路線バス)の上限運賃の認可については、公営事業者の運賃は、議会の議決を受けた条例により設定されていることを十分配慮されたいこと。(結果→×)
- ③ 地下高速鉄道事業
 - ・地下鉄駅構内等の混雑を緩和するためのホームの拡張、改修等の大規模改良事業に対する補助金の所要額を確保すること。(結果→×)
- 公営交通事業の厳しい経営を考慮して、国において創設(拡充)された施策
 - ・交通事業債(経営改善推進事業)の創設(総務省)
 - ・資本費平準化債の対象拡充(総務省)
 - ・バス事業運賃改定の運賃原価・収入算定における補助金収入の取扱いの変更(国土交通省)

(2) 令和5年度の政府施策等の調査

【公営交通事業全般】

- ① 公営交通事業関係の補助金等の政府予算及び地方債計画
 - ・令和6年度政府予算概算要求の状況及び地方債計画(案) (9月会報に掲載)
 - ・令和5年度国土交通関係補正予算の概要 (11月会報に掲載)
 - ・令和5年度国土交通省鉄道局関係補正予算配分概要 (12月会報に掲載)
 - ・地方財政審議会意見 (12月会報に掲載)
- ② 令和5年度の地方公営企業繰出金について (4月会報に掲載)

【バス事業】

- ① 地方バス路線を維持するための補助制度
- ② ノンステップバス等の導入に対する補助制度

③ 事業用自動車における電動車の集中的導入支援に係る補助制度

【地下高速鉄道事業】

- ① 地下鉄建設費補助制度
- ② 交通システムの低炭素化と利用促進に向けた設備整備事業
- ③ 地下鉄特例債制度
- ④ 新型コロナウイルス感染症に係る公営企業の特別減収対策企業債

【路面電車事業】

- ① LRTシステムの整備に対する補助制度
- ② 地域公共交通バリア解消促進等事業
- ③ ポストコロナを見据えた受入環境整備促進事業

(3) 公営交通事業の決算状況

- ・令和4年度公営交通事業決算概要 (7・8月会報に掲載)
- ・令和4年度公営交通事業決算調 (8月小冊子発行)

(4) 公営交通事業の運賃の現況 (9月会報に掲載)

- ・公営交通事業運賃の優遇措置状況調 [令和5年4月1日現在]

(5) バスの走行環境改善状況 (7・8月会報に掲載)

- ・公共車両優先システム〈PTPS〉公営バスの運用状況 [令和5年4月1日現在]
- ・バス優先レーン・バス専用レーン・バス専用道路の設置状況
[令和5年3月31日現在]

4 政府施策(令和6年度)に関する要望活動

(1) 関係省庁及び国会議員(衆議院及び参議院の総務委員長、国土交通委員長等)に対する要望

1) 要望日 令和5年7月26日(水)(環境省は同月28日(金))

- 2) 要望者 久我 英男 会長(東京都公営企業管理者)
折戸 秀郷 副会長(名古屋市交通事業管理者)
太田 彰幸 副会長(長崎県交通事業管理者)
中上 一夫 理事(川崎市交通事業管理者)
三村 庄一 監事(横浜市交通事業管理者)
中田 雅幸 札幌市交通事業管理者(大都市交通事業管理者会議幹事)
細見 邦雄 理事(公営交通事業協会事務局長)

3) 要望先

- 総務省 総務大臣をはじめとする政務三役、事務次官、総務審議官及び自治財政局の局長・審議官・課長
大沢博自治財政局長、中井幹晴大臣官房審議官(公営企業担当)には、面会し、要望内容を伝えた。
- 国土交通省 国土交通大臣をはじめとする政務三役、事務次官、国土交通審議官及び鉄道局、自動車局、総合政策局、道路局の局長・審議官・課長等

- 環境省 事務次官及び地球環境審議官並びに水・大気環境局の局長・審議官・課長等
- 衆議院 浮島智子 総務委員長、木原稔 国土交通委員長、あかま二郎 総務委員会理事、奥野総一郎 総務委員会理事、中根一幸 国土交通委員会理事、伴野豊 国土交通委員会理事
- 参議院 河野義博 総務委員長、蓮舫 国土交通委員長、中西祐介 総務委員会理事、小沢雅仁 総務委員会理事、長谷川岳 国土交通委員会理事、森屋隆 国土交通委員会理事

(2) 関係国会議員(171名)に対する要望

札幌市、仙台市、東京都、川崎市、横浜市、名古屋市、京都市、神戸市、福岡市、長崎県及び協会事務局が分担して、8月末までに都内の衆参両院国会議員会館の事務所等を訪問し、要望活動を行った。

(3) 令和6年度公営交通事業関係 政府予算について (資料2参照)

5 研修事業

研修は従来、省エネルギー運転(エコドライブ)等研修と運行管理者研修の2本立てで行ってきたが、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言等により、令和2年度、3年度は中止し、コロナ禍における経費の縮減により、4年度については、省エネルギー運転(エコドライブ)等研修のみを、5年度については、運行管理者研修のみを実施した。

運行管理者研修の開催

バス事業における運行管理体制の充実・強化を図るため、運行管理者研修を平成16年から開催しており、コロナ禍等で3年間中止としたが、今年度で17回目の開催となった。

なお、この研修は、全日本自治団体労働組合(都市公共交通評議会)との共催である。

1) 開催日 令和5年6月7日(水)～9日(金) <2泊3日>

2) 場所 (株)クレフィール湖東 交通安全研修所

3) 研修内容

○ 講演(その1)

「バス事業の安全対策について」

国土交通省 自動車局安全政策課 自動車安全監査官 遠藤 秀雄 氏

○ 講演(その2)

「ドライブレコーダーを活用した危険予知トレーニング(KYT)と運転において【みる】とは？」等

独立行政法人 自動車事故対策機構 滋賀支所 支所長 佐伯 勝幸 氏

○ 講演(その3)

「事業用自動車の安全を確保するために」～ドライブレコーダー映像の事故事例を通じ生理的・心理的要因から安全を考える～

しずてつジャストライン(株) 安全研修センター 指導員 八木 敏晴 氏

- 夜間検証実習
クレフィール湖東 交通安全研修所のインストラクターによる実習
- 運行管理にかかる実地指導（乗客接遇の実地指導、運転と反応の実地指導等）
クレフィール湖東 交通安全研修所のインストラクター



乗客接遇の走行実地指導風景

- 班毎の課題の検討とその結果報告（乗務員指導事例含む）及び意見交換等
＜指導・助言＞
しずてつジャストライン(株) 安全研修センター 指導員 八木 敏晴 氏
＜課題＞

A班・C班； 健康起因事故防止対策としての運行管理業務について
B班・D班； 発車時の事故（車内事故を含む。）防止対策としての
運行管理業務について



班別の検討の様子

- 4) 参加都市
青森市 仙台市 東京都 川崎市 横浜市 名古屋市 京都市 高槻市
伊丹市 神戸市 松江市 徳島市 長崎県 鹿児島市 計 14都市
- 5) 参加者数 計 29名 （38歳～59歳、平均50.9歳）

6 広報事業

公営交通の広報事業については、一般財団法人日本宝くじ協会の社会貢献広報事業に係る助成金を得て、「環境に優しい公営交通広報ポスターの制作・配布事業」と「モデル・バス停留所施設の設置事業」を実施している。

(1) 広報委員会の開催

令和5年度宝くじ助成事業に係る「モデル・バス停留所施設の設置都市の選定」と「公営交通PRのための広報ポスターの制作」等の広報委員会を4月21日（金）にオンライン（Zoom使用）により開催した。

① 議題

- 1) 令和5年度宝くじ助成対象事業の事業計画（案）について
- 2) 令和5年度モデル・バス停留所施設（上屋及び標識）の設置事業（案）について
- 3) 令和5年度環境に優しい公営交通広報ポスターの制作・配布事業（案）について
- 4) 情報交換（車内のマナー啓発等について）

② 委員会メンバー

地区代表として下記都市から1名、協会事務局から2名

函館市（北海道・東北地区）

東京都（関東・中部地区）

京都市（近畿地区）

徳島市（中国・四国地区）

鹿児島市（九州地区）

公営交通事業協会事務局

(2) 環境に優しい公営交通広報ポスター制作・配布事業

令和5年度においても、会員都市から寄せられた意見などを基に、2種類のポスターを制作することとした。

上記(1)の広報委員会において、表現や図柄を重視したポスター図案5点の中から委員による投票により2点のポスターを選定し、作成した。

このポスターについては、8月下旬に各会員都市に配布した。

① 公営交通広報ポスター(その1)

<キャッチコピー>

「公営交通に乗って脱炭素社会へ♥」

<制作枚数> A1判 800枚 B3判 8,425枚

② 公営交通広報ポスター(その2)

<キャッチコピー>

「脱炭素習慣に公営交通をご乗車ありがとうございます」

<制作枚数> B3判 8,625枚



一般社団法人 公営交通事業協会

〇〇交通局

このポスターは、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。

公共交通広報ポスター(その1)B3 判横



一般社団法人 公営交通事業協会

〇〇交通局

このポスターは、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。

公共交通広報ポスター(その2)B3 判横

(3) モデル・バス停留所施設(上屋及びソーラー照明付き標識)の設置事業

① 上屋の設置都市について

令和5年度は、宝くじ助成対象として12基が認められたが、辞退が1都市あり、11都市に設置することとした。

八戸市、仙台市、横浜市、高槻市、宇部市、松江市、徳島市、北九州市、佐賀市、長崎県、鹿児島市

② ソーラー照明付き標識の設置都市の選定について

令和5年度は、宝くじ助成対象として8基が認められたので、次の都市に設置することとした。設置要望のあった次の都市に設置することとした。

青森市、名古屋市、伊丹市、宇部市、松江市、徳島市、北九州市、鹿児島市



令和5年度に設置したバス停留所上屋
 ≪案内板、ベンチ付き≫
 近隣センター(宇部市)



令和5年度に設置したソーラー照明付き標識
 ソフトビジネスパーク入口(松江市)

7 情報の収集・連絡事業

(1) 情報の収集及び連絡

① 会報「公営交通」の発行

[令和5年4月号(第625号)から令和6年2・3月号(第633号)]

- 協会の総会・理事会の報告
 - 協会が実施している各種事業の実施状況、各種調査研究の報告
 - 公営交通事業に関連する関係省庁の発表資料
 - 会員都市の経営計画、運賃改定
 - 正会員から寄稿された公共交通に関する情報を「会員だより」として、掲載。(資料3参照)
 - 関係省庁及び会員都市の人事情報
 - マスメディアの公営交通関係情報
- などを冊子にまとめ、原則毎月1回、月末に発行した。

② 国からの通知の連絡(随時)

(令和5年度 国からの通知 計28回)

- 基本的対処方針に基づくイベントの開催制限、施設の使用制限、業種別ガイドライン等の取組の廃止に当たっての留意事項について
- 地域公共交通確保維持改善事業費補助金(地域公共交通バリア解消促進等事業(自動車))及びポストコロナを見据えた受入環境整備促進事業補助金(交通サービス利便向上促進(自動車))の運用方針の改正について
- ベビーカー利用に関する広報啓発の取組について(協力依頼)
- バスの安全運行の徹底について

③ 「公営交通事業協会通報」(随時)による連絡

(令和5年度 通報 第1号~第142号 計142回)

- 人事異動(総務省・国土交通省)
- 日本版MaaS推進・支援事業の公募の開始について
- 令和5年度の地方公営企業繰出金について(総務省)
- 令和3年度地方公営企業等決算の概要(総務省)
- バス事業に係る地方運輸局への権限委任について
- 「鉄道運輸規程及び軌道運輸規程の一部を改正する省令案」に関するパブリックコメントの募集について
- 障害を理由とする差別の解消の推進に関する国土交通省における対応要領及び国土交通省所管事業における対応指針の改正について
- 「令和5年度補正予算 商用車の電動化促進事業」の補助金の交付申請の公募の開始について 等

④ 「情報交換連絡会」の開催

令和5年度から、会員各都市の共通課題や情報をタイムリーに共有し、会員相互の発展に役立てるため、Z o o mを活用する情報交換連絡会を開催し、活発な情報交換が行われた。

日 時 令和5年11月1日（水）14時00分～15時25分

テーマ 各都市の脱炭素（電気バス等）の取組状況について（会員専用ページで資料をアップした。）

出席者 13都市 21名

（2）情報の公開

ホームページにおいて会員都市の交通事業の積極的なPR及び交通事業関係の各種情報を提供するとともに、会員専用ページにおいて、会報等の印刷物をPDFにより提供している。

① ホームページアドレス <https://www.mtwa.or.jp>

② ホームページの主な掲載内容

- 1) 協会案内（概要、定款、役員一覧、会員名簿、事業・財務報告）
- 2) 事業内容
- 3) 会報・会員だより
- 4) 会員都市・関係団体等
- 5) 協会からのお知らせ

新型コロナウイルス感染症対策としての「マスク着用は個人の判断が基本」との厚生労働省リーフレットを掲載、また、全国交通安全運動期間中、同運動の広報啓発を図るため、内閣府ホームページ（交通安全普及啓発事業等）を紹介している。

6) 会員専用ページ

会報、公営事交通事業決算調、公営交通事業要覧、政府施策に関する要望書、情報交換連絡会等

8 保険事業

令和5年度も会員都市、特別会員及び賛助会員を対象に、下記の保険契約を締結した。

（1）公営交通事業者等団体鉄道賠償責任保険

- ・ 加入都市及び会社
正会員10都市 特別会員1社 賛助会員13社
- ・ 保険料 36,024,790円

（2）公営地下鉄土木構造物保険

- ・ 加入都市 正会員5都市
- ・ 保険料 41,765,600円

9 表彰事業

(1) 令和5年度公営交通事業協会会長表彰

協会表彰規程に基づき、表彰の受賞候補者を会員都市へ推薦依頼し、10月の協会表彰審査委員会の審査を経て、受賞者が決定された。なお、表彰状及び記念品の授与は、各会員都市に依頼している。

1) 永年無事故表彰	9都市	158名
2) 永年勤続表彰	12都市等	713名
3) 職員の模範となる行為の表彰	3都市	8名
受賞者総数	15都市等	879名

(発明考案表彰の該当はなし)

(2) 令和5年度国土交通大臣表彰

○ 鉄道関係功労者大臣表彰

会員都市からの推薦に基づき、国土交通省に候補者の推薦を行い、国土交通大臣より以下の都市1社の12名が受賞した。

札幌市1名 東京都3名 横浜市2名 名古屋市2名 福岡市1名 大阪市高速電気軌道株式会社3名

なお、表彰式は10月16日(月)に国土交通省において行われた。

また、上記の大臣表彰の受賞者には、協会会長から記念品を贈呈した。

○ 自動車関係功労者大臣表彰

東京都、横浜市のそれぞれ1名が受賞した。なお、表彰式は10月26日(木)に国土交通省において行われた。

また、上記の大臣表彰の受賞者には、協会会長から記念品を贈呈した。

10 国及び関係団体との連携及び協力

(1) 国土交通省の委員会等への参画

「子育てにやさしい移動に関する協議会」の構成員、「令和5年度公共交通機関のバリアフリー基準等に関する検討委員会」の委員として、参画した。

(2) (公社)日本バス協会・(一社)日本地下鉄協会

理事会等への出席を通じて、公営交通事業に関係する情報の収集を行った。

(3) 全日本自治団体労働組合(都市公共交通評議会)

運行管理者研修を同組合と共催して行った。また、定時総会において公営交通事業の健全化等に係る要請を同組合から受理した。

【参考資料】

(資料1) 会員及び役員名簿	-----	15
(資料2) 令和6年度 公営交通事業関係政府予算について	-----	19
(資料3) 令和5年度 会員からの寄稿記事一覧	-----	21
(資料4) 令和5年度 国からの公文書一覧	-----	23
(資料5) 令和5年度 公営交通事業協会通報一覧	-----	25